

私たちを はぐくみ 育ててくれる 母なる大地 夜久野町

夜久野自治会だより

第50号

記念特集号

平成31年

3月号



『下夜久野保育園、新しい園舎が完成!』

4月からピカピカの1年生になる子どもたちが、
ピカピカの園舎の前で記念撮影。

おもな内容

第50号発刊に寄せて	2・3
夜久野讃歌	4
13年のあゆみ	5
13年を振り返る	6・7
平成30年度定期総会報告	8
平成30年度会計報告(中間)	9

自治基本条例	10
輝く夜久野の子どもたち	11
歴代編集委員	12
まごころ銀行(ふるさと基金)	12

夜久野自治会だより 第五十号記念特集号発刊に寄せて



夜久野町連合自治会

会 長 的 場 渡

十二年前の合併当時、自治会関係者の皆様には、大変なご苦労があったと聞いております。その後も過疎高齢化や、度重なる自然災害に対応しつつ、生活基盤も確保（地・デジ・自主防災・鶏舎・学校統合等々）に労苦を惜しまず取り組まれて来られました歴代の役員様方、並びにその活動をご理解ご支援頂きました住民の皆様、に深甚なる敬意と感謝を申し上げる次第でございます。本年度連合自治会長の末席を担う身となり、「皆で考え皆で行動する」事を第一にして自治会と公民館・夜久野みらいまちづくり協議会との「三位一体」の取組を行ってきました。七月豪雨災害等度重なる災害で復旧に追われる年でしたが、それ以外にも安心・安全の拠り所なる施設の老朽化（街灯や有線放送機器・道路や水路等）、合併後の公共施設の後処理、防犯・見守り、治山、鳥獣害対策等々課題は山積しております。これらの課題を克服して住民が安心して笑顔で暮らせる地域を創るには、「自助・共助・公助」のもと自助、共助について、住民一人一人が参画し（皆で話し合い、皆で決定し、皆で行動する事）が必須ではないかと思えます。平成三十年度は福知山市自治基本条例が施行されました。住民の皆様がそれぞれの家庭や自治会等で「夜久野の未来」を思い・考え・話し合って頂き、自分達で出来る「新たな一歩」を行動に移して頂ければ幸いです。

夜久野町連合自治会初代会長

稲垣 司郎

「夜久野自治会だより」は、平成十八年八月に創刊されました。

合併して数ヶ月が過ぎた頃、行政範囲が広域になった中で、夜久野の各自治会が従来よりもいっそう交流を深めたり、結束を固める必要を強く感じるようになりました。そこで、夜久野町全自治会が結集する組織「夜久野町連合自治会（発足時は『夜久野町自治会長会』）」を立ち上げることを考えました。しかし、行政主導ではなく自主的に連合自治会を創設することとは、従来にない発想であったため、大論議の末に発足することとなりました。

お陰様を持ちまして、連合自治会の設立により、「地・デジ」難視聴対策を始め、鶏舎建設問題や夜久野学園開校、「夜久野みらいまちづくり協議会」設立など、夜久野ならではの課題を地域ぐるみで考え合い、成果を挙げる事ができました。「自治会だより」は、それらの経過や成果を掲載してきました。さらに、紙面を通して住民の交流や郷土への思いが深まるよう各自治会の行事などを写真とともに紹介してきました。

連合自治会の活動と「自治会だより」を支えていただいている関係者の皆様に厚くお礼申し上げますとともに、今後のますますのご発展を心よりご期待申し上げます。

夜久野物産(株)

代表 森澤俊彦

夜久野町井田520 TEL 37-1137 FAX 37-1167

住いのリフォーム、新築、増改築、設備のことは (株)衣川製材所

福知山市夜久野町額田1406 TEL 0773-37-0036

夜久野地域公民館初代館長

足立 正夫

「夜久野自治会だより」第五十号発刊おめでとうございます。

平成十八年に夜久野町連合自治会が大激論の末に誕生したことは、印象深く覚えております。合併後の夜久野の郷を住民自治により発展させていくために、全自治会が力を合わせることでできる協議体が必要であると論議を重ね、二回の総会を経て発足されました。

発足間もなく、「地上デジタル放送」移行に関わり難視聴地域に高額な負担がかかることが判明した際には、全自治会長との協力のもと説明会の実施、署名活動、要望書提出などを展開され、その結果、負担額の見直しを実現されました。その後も、「夜久野学園」開校や、「夜久野みらいまちづくり協議会」の設立など、地域の課題と将来の展望を見据えた活動を展開してこられていることは、大変心強く思っております。

夜久野地域公民館も合併と同時に設立され、連合自治会とは「車の両輪」として、夜久野の郷づくりに努めて参りました。今後とも、住民自身が夜久野を愛し、心通わせながら住みやすい郷を築いていきますことを願い、関係者の皆様の一層のご活躍を祈念いたします。

夜久野地区民生児童委員協議会会長
夜久野町連合自治会初代副会長

植野 莊二

「自治会だより」にありがとう

自治会だよりが発刊第五十号を迎えられたことおめでとうございます。この間における道程には大変なご苦労があったと思います。

平成十八年の合併に伴い、夜久野の自治会を連合体として組織運営することや広報誌の発刊など、無いもの尽くしから船出したものでした。これらの経験のないなか、地域公民館の方々の支援を得て、広報誌の内容や読みやすさ、それに財源などあれこれと相談しながらスタートしたものでした。広報誌を年間約四回程度発刊するためには、会費だけでは到底賄えず、町内の事業所様には広告掲載ということでご協力を願うことで創刊号発刊に漕ぎつけたことが思い出されます。

以来、今日まで歴代の自治会の役員様のご努力で、その時々の課題や話題などをタイムリーに取り上げて頂き、私達に届けていただいています。今後も月号を目指し、素晴らしい自治会だよりとなりますようお祈り申し上げます。

平成十九年度夜久野町連合自治会副会長
明日の夜久野教育を考える会事務局長

瀬田 眞澄

夜久野町連合自治会は、生みの苦しみを経て発足しました。設立に関わった方々、歴代の役員各位併せて事務局職員のご尽力により今日を迎えることに深甚なる敬意を表します。

連合自治会は、単位自治会が抱えている課題を共有し、課題解決に向け、住民の声を一つにして関係当局との折衝に当たるなど自治会の連合体としては、他に例をみない誇れる組織です。

今日、少子高齢化の進展に伴い高齢者世帯の増大と個人の意識変化などにより地域力が減退し、将来にわたって自治会機能の維持が危惧される現状にあります。

災害時など有事の際に個人で対応するには限度があります。頼りになるのは共助の要、近隣住民の組織「自治会」です。

この自治会と住民を繋ぐのが「自治会だより」です。編集発行には多大なご苦労があるでしょうが楽しみにしています。感謝。

夜久野学園校長

曾根 肇

「明日を拓く学園に」

夜久野自治会だより創刊五十号の発行まことにありがとうございます。

夜久野学園は、平成二十五年の創立より本年で七年目を迎えます。初めての学校生活を学園でスタートした現六年生の子どもたちがいよいよ中学校に入学します。新たな時代の始まりを感じます。

開校以来、地域の皆様には、登下校の子ども達の見守り、ふるさと未来学へのご協力や地域をあげての資源回収の実施など物心両面にわたって温かいご支援をいただいております。紙面をお借りして改めて御礼申し上げます。本当にありがとうございます。

今後も、夜久野を舞台とした特色ある教育活動に取り組み、ふるさと夜久野を愛し、自分自身と夜久野の「明日」未来を切り拓く学園基礎力を身に付けた子ども達を育てていきます。引き続きご支援ご協力いただきますようお願い申し上げます。



歌い継ぎたいふるさとの歌



夜久野讃歌

(旧夜久野町歌)

一、緑^{みどり}萌^もゆる 四^よ方^もの山^{やま}脈^{なみ}
 その麓^{ふもと} わが町^{まち}はあり
 望^{のぞ}みあり 高^{たか}き槌^{つち}音^{おと}
 望^{のぞ}みあり ふるさと夜^や久^く野^の

二、四^し季^きの恵^{めぐ}み 里^{さと}に溢^{あふ}れて
 わが業^{わざ}に 勤^{いそ}しむ人^{ひと}の
 影^{かげ}映^はゆる 清^{きよ}き牧^{まき}川^{がわ}
 平^{へい}和^わなる ふるさと夜^や久^く野^の

三、黒^{くろ}き大^{だい}地^ち 拓^{ひら}き育^{そだ}てし、
 祖^{おや}びとの 尊^{いさお}き功^{こう}
 栄^{さか}えあれ われら進^{すす}まん
 栄^{さか}えあれ ふるさと夜^や久^く野^の

作詞 藤本 八重子 補作詞 足立 萬里
 作曲 なかの こうじ 編曲 中村 敬二郎

作詞者 藤本八重子さんより
メッセージをいただきました。

「ふるさと夜久野」

藤本 八重子

「夜久野自治会だより」第五十号記念号発行おめでとうございます。

五十号と一口に申しますが、自治会の方々と編集委員の皆様のご苦労が偲ばれます。夜久野町も例外なく高齢化が進み、私もその一人ですが加齢と共に、行動範囲が狭くなり、身近な情報さえ知ることが少なくなつてきていますが、自治会だよりを手にすると写真や記事で夜久野の情報や出来事などが解りやすく紹介されてお有り難く思います。ただ毎号発表される町内の人口減少には淋しさを禁じ得ません。

夜久野町歌につきましては夜久野町発足二十五周年記念行事として町歌の募集があり当初、私は応募意志は全く無かつたのですが生まれも育ちも嫁いだのも「夜久野」であり、見慣れた山や川を光景と共に風習なども思い浮べつつ、稚拙ながら日頃作っている短歌調でまとめてみました。応募までには幾度もためらいを重ねて投函しました。

入賞の発表を知った時は「まさか」と信じられず奇蹟の起きたような驚きでした。

式典の折には、作詞家の足立萬里先生と同席し、表彰され身に余る光栄に夢心地でした。

その後、福知山市と合併し、町歌は消滅する筈でしたが「夜久野讃歌」として残して頂き再度の光栄に浴しました。はからずも九十三歳の寿命を頂き今は何も出来ずなりましたが、名ばかりの老農婦としてこの里に暮らせる幸せを有難く思っております。

木材製品販売 (有) 佐藤商事

(代表取締役 佐藤良郎)

(建築請負) TEL 38-0043 FAX 38-0151 平野513

松田電器

TEL 37-0043 FAX 37-0043



あんなこと こんなこと



「自治会だより」を第1号から紐解くと、夜久野連合自治会としての取り組み、住民のみなさんに重点的にお知らせしてきた事柄が浮かび上がってきます。

ふるさと夜久野を住みよくするために、共に考えて進んできた足跡をご覧ください。

※数字は掲載号数

平成18年度

夜久野自治会長会発足 ①
新福知山市になって ①②③
地デジ放送の対応について ③④
夜久野町史第2巻発刊 ④

平成19年度

テレビ難視聴対策 ⑤⑥⑧
夜久野高原鶏舎建設反対運動 ⑥⑦⑧

平成20年度

夜久野高原鶏舎建設反対運動 ⑨
学校再編 ⑨
明日の夜久野教育を考える会 臨⑩⑪

平成21年度

明日の夜久野教育を考える会 ⑫⑬⑭
市立保育園整備計画 ⑬
公民館の形態・活動運営変更 ⑬

平成22年度

自治会立公民館への移行 ⑮
夜久野地域公民館文部科学大臣賞受賞 ⑰
明日の夜久野教育を考える会 ⑮⑯⑰⑱

平成23年度

明日の夜久野教育を考える ⑲⑳㉑
下林脩グランプリ受賞 ㉑
地域自主防災 ㉑㉒

平成24年度

明日の夜久野教育を考える会 ㉓㉔㉕

平成25年度

府道上夜久野停車場拡幅工事 ㉙
やくの玄武岩公園府景観資産に登録 ㉚

平成26年度

夜久野みらいまちづくり協議会
㉛㉜㉝㉞

平成27年度

夜久野みらいまちづくり協議会発足
㉟㊱㊲

平成28年度

夜久野みらいまちづくり協議会 ㊳
まちづくり振興大会 ㊴

平成29年度

自治基本条例 ㊵

平成30年度

自治基本条例 ㊶㊷㊸㊹

連合自治会の13年を振り返る

平成

18年～19年「地デジ」難視聴対策

五年後に地上デジタル放送に切り替わるにあたっての整備事業において、難視聴地域（夜久野では八十七%の世帯が該当）が一世帯あたりの負担額があまりにも高額であったことから、説明会の開催や署名による申し入れ等の活動を展開。その結果、負担額の見直しが実現。当初の十五万八千円から、三万九千円に軽減されました。

18年～ 自主防災組織づくり

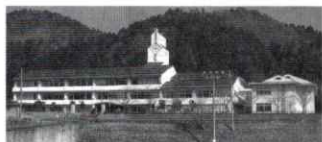
合併初年度から、「自治会だより」紙面での防災に関する啓発を始め、自主防災組織結成促進をはかってきました。現在、結成率は八割を超えました。

19年～ 「鶏舎」建設問題

夜久野高原で進められていた鶏舎の建設計画が実現しないよう、全世帯からの署名をもとに福知山市長に要望書を提出。兵庫県の近隣地区（白井地区、金浦地区）とも連携しました。朝来市、福知山市、両市の住民代表者による四者協議を実施、その後も粘り強く交渉を進めました。

20年～25年 「明日の夜久野教育を考える会」

発足の翌年二月に、要望書「過疎・少子化に立ち向かう夜久野の学校教育の再構築について」を市長に提出。連合自治会をはじめ、学校・保育園関係者、保護者、



夜久野学園



現在の土地の状況



初期消火訓練

歴代
連合自治会
会長名

【十八年度】

稲垣 司郎

【十九年度】

森山 龍彦

【二十年度】

西谷 久男

【二十一年度】

衣川 元喜

【二十二年度】

井上 貞昭

【二十三年度】

石原 正直

社会教育・福祉関係者等の幅広い立場から学習と協議が進められました。要望の中核であった小中一貫校夜久野学園が、平成二十五年開校。学校と地域が連携しながらよりよい教育と地域づくりを進め、現在に至っています。

25年「玄武岩公園」京都府景観資産として登録

小倉自治会が、福知山市や京都府と協議・現地見学・学習会を重ね、十二月十八日に登録証の交付を受けました。

平成十七年に京都府の天然記念物にも指定されており、地質学的にも価値の高い美しい柱状・板状節理です。また、自然がありなす豊かな四季折々の姿も美しく、広くPRすることで、観光スポットとして期待が持てます。



玄武岩公園

27年「夜久野みらいまちづくり協議会」設立

一年間の準備期間を経て、七月十四日に設立。前年実施の「1000人ミーティング」や自治会アンケートをもとに「みらいまちづくりビジョン」を作成。現在、「経済活性化」「定住・交流促進」「教育・文化・スポーツ」「福祉・あんしん」の四つの部会が、毎月会合を持ち、ビジョンの具現化に向けて奮闘。子どもから高齢者に至るまで、地域づくりの仲間と考え、多彩な活動を展開中。

30年「福知山市自治基本条例」施行 住みやすい夜久野を創るための住民自治に取り組む

福知山市の憲法といわれる「自治基本条例」の趣旨をよく理解することで、よりよい夜久野の郷づくりを活かすべく、「自治会だより」に特集記事を連載したり、研修会へ積極的に参加しあつたりしました。

【二十四年度】
伴 中 一 三

【二十五年度】
荒 木 光 雅

【二十六年度】
尾 上 繁 和

【二十七年度】
足 立 義 照

【二十八年度】
水 谷 博

【二十九年度】
水 谷 博

【三十年度】
的 場 渡



平成三十年度 定期総会

【活動報告】

- 一、自治基本条例の施行に対応した自治会活動の推進・支援
 - 都合五回の連合自治会幹事会を開催し、時事の課題解決に向けて協議を重ねた。
 - 決定事項は速やかに書面で各自治会長様に報告し情報の共有化に努めた。
 - 「自治会長」表札を作成配布し、連合自治会の連携・連帯意識の高揚を図った。
 - 共に、行動する為の意識高揚の啓発活動（暑中見舞い・年賀状での）を実施。
- 夜久野みらいまちづくり協議会、夜久野地域公民館と連携を深め、時事課題や年間行事の取組みに積極的に係わり共働した。
- 各自治会の要望を取りまとめ早期実現に向けて京都府・福知山市に提出したが、七月豪雨や連続襲来した台風の被害で災害の復旧対応に追われる現状であった。
- （府土木事務所への回答会 八月二十九日）
福知山市道路河川課への回答会 十二月二十一日に実施
- 住み良いまちづくりの推進（安心・安全の見える化）
防犯・交通安全の看板やステッカーの作成配布や周知活動をまちづくり協議会と連携して実施。
- 夏季期間のプール管理の財政支援（例年通りの八万円を補助）
七月八月の異常高温が続きプールの使用を制限した。
- 「家庭」みかレンダー」の作成配布
二〇一九年度分を十二月に全家庭に作成配布済。
- 「夜久野自治会だより」の発行
連合自治会活動広告塔として年四回発行、次号は第五十号の記念特集号を発刊予定。
- まちづくり紹介コーナーの充実
コーナーの充実とご意見ポストを設置した。
- 吊り下げ懸垂幕の活用
- 交通安全、防犯等の各種啓発文・行事周知他通年実施した。
- 防犯カメラの設置を進める
本年度の当初に旧市内繁華街で五か所に設置されたが、過疎地での設置は困難。経費・設置箇所・個人情報等の管理等をクリヤーするには継続的な取り組みが必要。
- 三小学校の跡地等の有効活用への取組み
公共施設の活用を検討する専門委員会（準備委員会）を設立した。

二、公民館との一体的活動の充実

- 夜久野地域公民館並びに上・中・下の地区公民館と連携・支援の強化を図り、生涯学習・まちづくり活動・人権推進・民生委員活動・サロン活動、ふれあいいきいきフェスタなどの年間行事の実施に積極的に取組んだ。
- 三、河川掃除委託事業の継続と作業面積の実測
- 三十年度の河川掃除の際に川幅・流水幅・法面の草刈りの実測的な作業面積の測定を自治会に依頼し報告の取りまとめを行った。今後の作業費配分の基準となる確かなデータを収集する事が出来た。
- 自治会保険の加入
- 河川掃除を含めた年間行事に対応した傷害保険に例年通り加入。
- 四、みんなでつくる安心・安全なまちづくりの支援
- 自治会毎の自主防災組織の結成促進・防災訓練・消火訓練・防犯教室の開催
- 七月豪雨・八・九月の台風襲来で被害にあわれた方々に心からのお見舞いを申し上げます。この際に早めの避難行動や災害対応・災害復旧と各自治会員や消防関係者各位様にご協力いただき大変お世話になりました。被害が無かった事は何よりであったと感じています。
- 災害・火災等の発見者は役職等に関わらず関係所管に「第一報」を行うように指導する。
- 災害要望のある場合は後日、関連資料・写真等を提出するのがベストである。
- 災害対策を含めた森林の保全管理に向けた取り組みについて検討する。
- 里山の復活・放置森林や豪雨・豪雪等による山の荒廃対策、日照権や電波障害の解決、急傾斜地崩壊防止対策などについて検討を行う。
- 森林関係団体からの要請を受けているが具体的な進展が見込めない。市の有害鳥獣対策指定地域となつて、電柵・メッシュ柵の設置は進んでいるが、住居近くまで迫る獣害対策の取組は進んでいない。
- 防犯カメラの設置の可能性を模索する
- 福知山市内五か所や立原地域の設置状況を調査し、夜久野で可能かどうか（経費・個人情報管理・設置場所等）を検討してみる。
- 五、各種団体とのコラボレーション企画や提案の募集
- 各自治会を取り組まれている独自の良い施策があれば横展開し、連合自治会の取組にしたい思いでございましたが皆様からのご意見・ご提案は有りませんでした。
- 各自治会が連合自治会に何を求めているのかを知りたい、協力したいの考えで発信してまいりました。年度の終わりになりましたが、各自治会の安心安全につながるアンケート調査を実施し、来年度につなげていきたいと思ひます。

平成30年度 夜久野町連合自治会 決算報告書(中間)

◎一般会計

平成30年4月1日～平成31年2月28日

〈収入の部〉

単位：円

科 目	30年度予算額	30年度決算額	増 減	摘 要
繰 越 金	29,025	29,025	0	前年度より繰越金
会 費	619,000	609,000	▲10,000	500円×1,218戸
協 賛 金	200,000	205,000	5,000	29企業・団体
特別会計より	0	200,000	200,000	
雑 収 入	0	3	3	預金利息 (3)
合 計	848,025	1,043,028	195,003	

〈支出の部〉

単位：円

科 目	30年度予算額	30年度決算額	増 減	摘 要
会 議 費	3,000	0	▲3,000	施設使用料 他
通 信 交 通 費	25,000	15,525	▲9,475	切手・はがき・郵送料
事 務 費	20,000	15,529	▲4,471	コピー用紙・ゴム印
事 業 費	800,000	815,840	15,840	自治会だより (332,640) ゴミカレンダー (43,200) プール運営助成 (80,000) 事務局委託費 (360,000)
予 備 費	25	30,000	29,975	災害見舞金
合 計	848,025	876,894	28,869	

(収入) 1,043,028円 - (支出) 876,894円 = (差引残高) 166,134円

◎特別会計

平成30年4月1日～平成31年2月28日

〈収入の部〉

単位：円

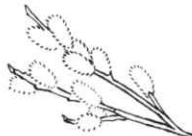
科 目	30年度予算額	30年度決算額	増 減	摘 要
繰 越 金	587,671	587,671	0	前年度より繰越金
河川掃除受託	11,796,840	11,796,840	0	府中丹土木事務所から
雑 収 入	14	30	16	預金利息
合 計	12,384,525	12,384,541	16	

〈支出の部〉

単位：円

科 目	30年度予算額	30年度決算額	増 減	摘 要
租 税 公 課	20,000	20,000	0	収入印紙
配 分 金	11,796,840	11,496,010	▲300,830	44自治会配分額
通 信 交 通 費		16,040	16,040	切手・はがき
事 務 費	100,000	95,000	▲5,000	河川調査委託
一般会計へ		200,000	200,000	
予 備 費	9,215	0	▲9,215	
合 計	11,926,055	11,827,050	▲99,005	

(収入) 12,384,541円 - (支出) 11,827,050円 = (差引残高) 557,491円

焼 肉 & ホルモン 大 池 夜久野町小倉1138-4 ☎ 0773-38-0204	 
--	--

福知山市 自治基本条例

特集【みんなで考えよう 自治基本条例】④



施行 1 年を振り返って

福知山市自治基本条例が、昨年4月から施行され、まもなく1年を迎えます。

本誌では、この条例について理解を深めることで私たちの住む夜久野をより一層住みやすい郷にしていきたいと願い、全4回の特集を計画し掲載してきました。

今回は、その最終回にあたり、市役所まちづくり推進課より、記事を寄せていただきました。

福知山市自治基本条例施行から1年

特別寄稿
by まちづくり推進課

自治基本条例は身近になりましたか？

この特集を通じて、条例の紹介だけでなく、Q&A形式で条例の意義や役割を問いかけていただいたり、市民の皆さんの「自治への思い」に触れさせていただいたりして、条例を推進する立場の私たちも色々な気づきを得られました。

何が変わった？

自治基本条例が施行されて1年、条例で何が変わったのでしょうか？

行政としては、条例の照らし合わせて意見募集のやり方を見直したり、会議・委員会などの委員公募を推進したりしています。また、職員も地域社会の一員であるという規定に則り、職員が地域活動に参加しやすくするための取り組みも進めています。

また、条例の施行にあわせ、「福知山市自治基本条例推進委員会」を設置しました。この委員会は、公募で手を挙げていただいた人やまちづくり活動をされている人など9人の委員で構成されています。

第1回目の会議は11月に開かれ、条例の浸透やまちづくりへの市民参画の状況について活発な意見が交わされました。

今後も継続して委員会を開催し、行政の施策の検証や条例の理念を根付かせるための方法について話し合っていきます。



取り組みを紹介する協議会の会員

条例でまちは良くなった？

そうは言っても、まちが良くなったかどうかは、目に見えにくいものです。

自治基本条例の効能は即効薬ではなく、漢方薬のように市や市民の内部からじわじわ効いて体質を変えていくようなものだと言われます。条例でまちが良くなるというよりも、まちを良くしようとする人の後押しや交通整理をすることが条例の役割であり、地域の中で何かを始めるとき、困ったことがあったとき、自治基本条例の理念が活きてくると考えています。

2月17日に開催された「夜久野まちづくり振興大会」では、ステージに立った各部会の代表の皆さんの発表が素晴らしいだけでなく、会場の皆さん一人ひとりがいきいきとしながら夜久野のお話をされていたのが大変印象的で、「このまちは既に変わり始めている」という実感が湧きました。

自治基本条例が「絵に描いた餅」にならないよう、市としても継続して浸透させる取り組みを行っていくとともに、皆さんが主体の「協働によるまちづくり」で、より良いまちづくりを創っていきましょう。



「夜久野まちづくり振興大会」の
参加者は110人
交流タイムにて熱心に語り合う参加者

輝く夜久野の子どもたち

夜久野学園「英会話コミュニケーション」 ～オーストラリアの高校生を迎えて～



夜久野学園は、教育課程特例校の認可を受け、英会話コミュニケーション科を特設しています。昨年末その成果を発揮できた国際交流の取組を紹介します。

オーストラリアの高校生を十三名迎え、一緒に学習に取り組んだり、日本文化を体験したりしました。学園の子どもたちの多くが臆することなく自ら進んでオーストラリアの高校生に話しかけるなど、これまで身に付けてきた英会話の力を存分に発揮しているように思いました。

「コミュニケーションの基本となる「伝え合いたい」という思いが学園の子どもたちには育っていて、英語だけでなく身振り手振りで思いを届けようとする姿も多々見られました。「習字を教えてあげると『サンキュー』と言って笑ってくれたのがうれしかった。」「自分の英語に自信がなかったけれど通じたときはとても楽しかった。」等の感想がたくさん聞かれました。一緒に生活する中で、言葉を通してだけでなく文化の違いを乗り越え、人と人との間に生まれる温かいもので通じ合っていたように思います。

今後も学園では、英語教育に力を入れるとともに国際交流を積極的に行い、様々な国の人とふれあうことを大切にしていきたいと考えています。

今年度も残りわずかとなりました。地域の皆様のご協力と温かいご支援に心より感謝申し上げます。

下夜久野保育園

平成三十年四月に統合して、新たに下夜久野保育園がスタートしました。四月から八月までは、友達との仲間づくりを中心に大切に保育を行い、少しづつ好きな友達も出来て、先生との関係も築けていきました。

九月からは遊戯室、調理室の改装工事のため、上夜久野保育所を仮園舎として、移動保育を行いました。夜久野ふれあいプラザの玄関とリハビリルームで預り保育を行い、下夜久野からバスで移動する子どもたちと、上夜久野保育園へ直接登園や、バス通園の子どもたちと様々な形態で朝夕の時間を過ごしました。いろんな場所で、子ども達の姿を見て声をかけていただき、地域の方に見守られていることに感謝の思いでいっぱいでした。

また、保護者の方々の理解と協力があったからできたことでした。

そして、二月一日に下夜久野保育園に帰ってきました。

初めて、新築された遊戯室に入ったときに「ひろい」「きれい」「おおきい」と言いながら遊戯室を皆で走り回ってうれしさを表現する姿が見られて良かったです。

室内でのマラソンも広々と出来、寒い冬も温かく過ごせます。大きな舞台もあります。これから大切にしていきたいと思えます。五ヶ月間たくさんの方々に携わって育てていただきました。今後ともよろしく願います。



日本工業規格認定品石州瓦販売施工

天田瓦店

代表者 塚脇 英雄

夜久野町額田

☎ 37-1025

FAX 37-1025

有限会社 大江商会

代表取締役 大江 友忠

夜久野町額田1235 TEL 0773-37-0038

歴代編集委員

【十八年度】 杉森 良雄 (委員長)
 稲垣 司郎 (委員長)
 植野 莊二
 安達 健二
 日下 忍彦
 衣川 幹彦
 【十九年度】 西谷 久男 (委員長)
 森山 龍彦 (委員長)
 瀬田 眞澄
 日下 忍
 安達 賢治
 中田 武紀
 谷口 清成
 【二十年度】 瀬田 眞澄 (委員長)
 西谷 久男
 上田 陽一
 衣川 貞行
 衣川 豊
 岡本 直明

【二十一年度】 中島 淑厚 (委員長)
 衣川 元喜
 岡本 直明
 松本 保博
 新宮 博之
 大西 典秋
 【二十二年度】 石原 正直 (委員長)
 井上 貞昭
 牧上 誠二
 氷上 正喜
 西川 幹雄
 杉森 義明
 月見 稔 (委員長)
 石原 正直
 植野 莊二
 夜久 康宣
 衣川 庄二
 足立 金栄



【二十四年度】 衣川 庄二 (委員長)
 伴中 一三
 夜久 紀雄
 越後 正則
 中川 春夫
 衣川 文男
 【二十五年度】 衣川 洋一 (委員長)
 荒木 光雅
 衣川 弘敏
 田中 秀和
 近藤 輝雄
 月見 悟
 【二十六年度】 足立 雅彦 (委員長)
 足立 義照
 衣川 一成
 衣川 正巳
 足立 宗親
 藤原 良明
 【二十七年度】 居相 芳明 (委員長)
 尾上 繁数
 井上 一巳
 水本 克則
 近藤 達和
 日下 叔武



【二十八年度】 中島 英俊 (委員長)
 水谷 博
 岡本 嘉明
 中島 政幸
 嶋尾 充
 衣川 正幸
 【二十九年度】 桐村 有作 (委員長)
 水谷 博
 藤原 良一
 大本 文雄
 玉木 正弘
 浅倉 茂輝 (委員長)
 的場 渡
 市場 理一
 栗原 秀行
 藤原 馨
 中川 浩和
 【事務局】 大本 夏代

ふるさと基金

まいてる銀行

篤志あがごとくまいりました。

☆平成三十一年二月

亡父供養 高橋 智哉 様(宮垣)
 亡父供養 夜久 雅文 様(小倉)
 亡父供養 衣川 綾子 様(下町)
 亡父供養 夜久 建男 様(水坂)
 亡母供養 中川 正彰 様(大連子)
 亡母供養 衣川 庄二 様(下町)



夜久野町の人口は 平成31年2月末日現在

☆人口 3,329人 (-122人)
 (男) 1,597人 (-51人)
 (女) 1,732人 (-71人)
 ☆世帯数 1,512戸 (-22)
 ()内は去年同期

(市人口統計表による)

編集後記

平成十八年八月の創刊以来十二年間、皆さんに支えられ「夜久野自治会だより」は、今回、栄えある第五十号記念特集号の発行を迎えることができました。

福知山市との合併で新福知山市の誕生を期に、夜久野町自治会長会が発足。自治会活動や行政の現状をより理解いただき、情報を共有して頂くために年四回の「自治会だより」の発行が始まりました。

今日までの十三年間には、テレビ難視聴対策・自主防災組織づくり・鶏舎建設問題・明日の夜久野教育を考える会・玄武岩公園の府景観資産としての登録・夜久野みらいまちづくり協議会設立・自治基本条例などの自治会としての取組について、タイムリーに皆様に伝えて参りました。

第五十号の発行を機に、本誌が今後より一層皆さんにとって身近な存在としてあり続けたいと思っております。今後ともご協力ご支援のほどよろしくお願い致します。